

ごあいさつ



理事長 西原 巧

(財)リバーフロント整備センターの設立二周年を迎えて

水辺は、水と緑の空間として地域社会に潤いを与え、まちの景観を形成し、憩いとレクリエーションの場、コミュニケーションの場として、また、都市サービスの増進等の面で重要な役割を担っています。

これらの機能に対する期待と要請が年々増大している背景を受けて、水辺空間のあり方、水辺空間の整備等に関する技術開発や調査研究を総合的に実施し、かつ、その成果を幅広く社会に活用して、安全で豊かな潤いのある国土の建設に資することを目的として当センターが設立されて、早くも2周年を迎えました。

この間、国、地方公共団体、民間等の関係機関のご指導、ご協力を戴きまして、当センターの組織や体制を充実することができました。

そうして、水辺空間整備事業の調査や計

画の作成、シンポジウムや研究会の開催、情報の収集と提供のほか、水辺空間と地域社会とのかかわり等に関する調査研究と技術開発等を行ってまいりました。特に水辺空間整備の計画づくりにつきましては、全国各地からの要請が多く、計画の検討に多忙を極めている状況であります。

これらのことは、河川を中心とする水辺空間の持つ環境機能が注目され、潤いとやすらぎのある水辺空間の創造・再生への要望がいかに高まっているかの証であると存じます。

当センターといたしましては、建設省の水辺に関する施策に呼応しつつ、多くの関係機関からの要請・期待に応えるために、さらに努力してまいりたいと存じますので、今後とも一層のご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。